明治大学リバティタワー
プレゼンテーション設備機器
取り扱いマニュアル

<対象教室>

１１１１・１１１２・１１１７・１１１８
１１２１・１１２２・１１２７・１１２８

明治大学
サポートデスク

＜目次＞

1．操作卓で使用できる機器

●ブルーレイプレーヤー
ブルーレイ（ＢＤ－ＲＥ、ＢＤ－Ｒ）
ＤＶＤ（DVD-R、DVD-RW、+R、+RW、DVD-R DL、DVD-Video、+R DL）
音楽ＣＤ、ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ

の再生が可能です。

●書画カメラ
写真やプリント、新聞などの資料をスクリーンへ映すことができます。

●常設ノートパソコン
共通認証システムアカウントまたはモバイルアカウントを使用して
インターネット等を閲覧できます。

ＵＳＢメモリ、ＣＤ（ＣＤ－Ｒ、ＣＤ－ＲＷ）などに記録した
ファイル、ＤＶＤの再生が可能です。

●VHS/DVDプレーヤー
ＶＨＳビデオテープ、ＤＶＤ（-R、-RW、ビデオ、一部のRAM）、
音楽ＣＤ、ＣＤ－Ｒ（音楽ＣＤフォーマット）、
ＣＤ－ＲＷ（音楽ＣＤフォーマット）

の再生が可能です。

●持込機材
ポータブルDVDなどのVideo機材、
RGB/HDMI出力のノートパソコン、デジタル出力を備えた機材、
ＲＣＡ端子（赤白端子）対応アナログ出力機器

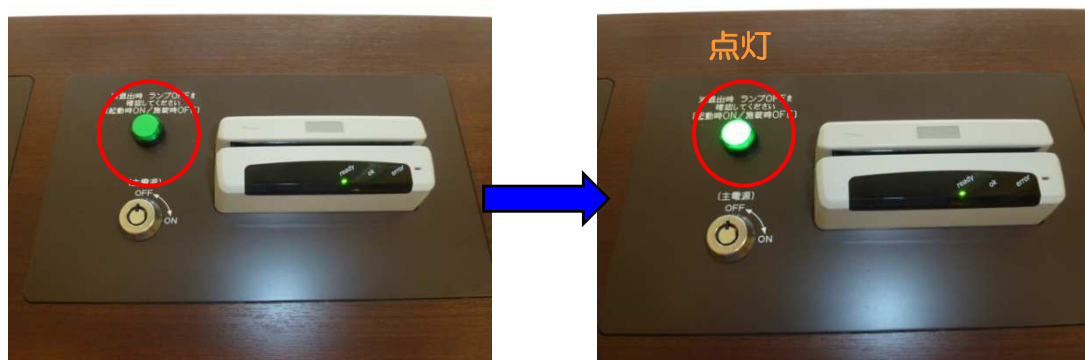
など

2．操作卓の開け方

①操作卓天板中央上部にあるカードリーダで教職員カードまたは
　操作卓用カードを読み込ませて電子錠を解除します。

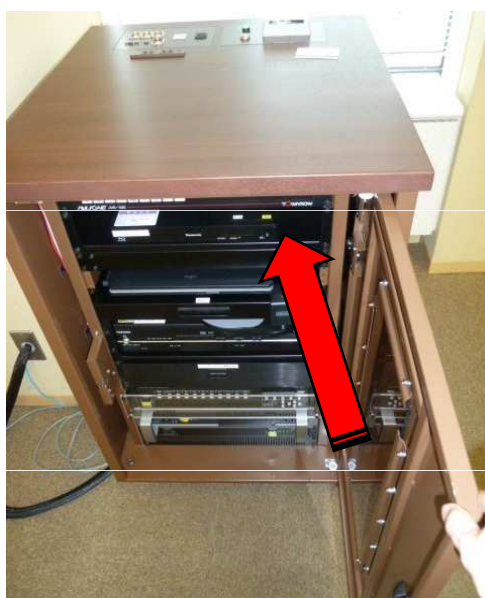
カードの磁気面を手前下側に向け、下に押し当て左側から右へ水平に素早く
引きます。
正常に認識されると、「カチッ」と音がして緑のランプが点灯し、操作卓扉の
ロックが解除されます。（操作卓終了直後は読み取りが可能になるまで数分か
かる場合があります。）

「カチッ」と音がしない、緑のランプが点灯しない場合は読み込み失敗ですので、
もう一度カードを読み込ませてください。

※開錠するとランプが点灯します。
　退出時にはランプが消えていることを確認してください。

※開錠カードではなく、鍵にて開錠された場合、
　使用中は手動錠を「ＯＮ」の位置にして、差したままにしてください。

②扉を開きます。

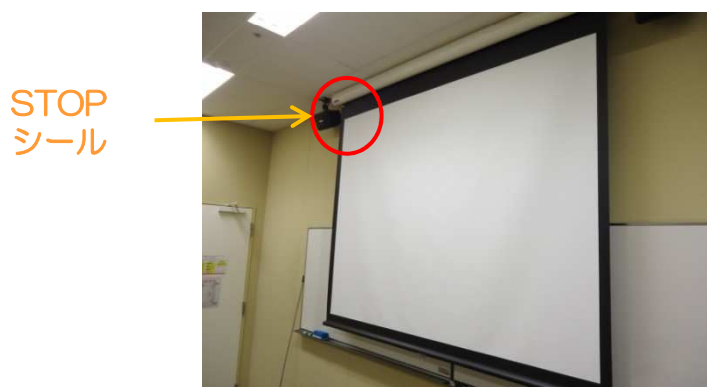
操作卓　全景

③扉を開き切った状態から奥に押し込むと扉を収納できます。

※手や指を挟まないように注意してください。

※勢いをつけ過ぎると怪我や卓の故障に繋がります。

3．スクリーン映写手順

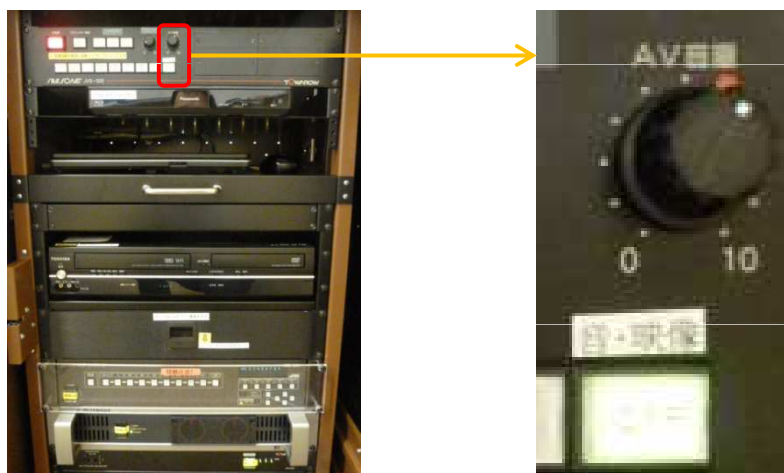
操作卓内の機器の映像をプロジェクターでスクリーンに映写します。
プロジェクターの操作や映写する機器の選択は「デジタルシステムスイッチャ」で行います。

①スクリーンをフック棒で引き下げます。
　スクリーンはSTOPシールが見える位置まで下げて使用します。

②プロジェクターの電源を“ON”にします。
　デジタルシステムスイッチャの［プロジェクタ電源ON/OFF］ボタンを押します。
　プロジェクターの電源がONになり、［プロジェクタ電源ON/OFF］ボタンが
　点灯します。

③スクリーンに映したい機器をデジタルシステムスイッチャで選択します。

POINT
［OFF］ボタンを押すと、映写画面と音を一時的に消すことが出来ます。
この時、プロジェクターの電源はOFFになりません。

4. 音量調節

音量調節は、「デジタルシステムスイッチャ」で行います。
[AV音量] つまみでビデオ・ＤＶＤ等の機器全ての音量調節を行います。

※ご使用後は、つまみの位置を"赤シール"の位置に戻してください。

5．書画カメラの使用

書画カメラの映像をプロジェクターでスクリーンに映写する手順は、
“3．スクリーン映写手順”をご参照ください。

デジタルシステムスイッチャ【外部ＨＤＭＩ】ボタンを押す。

①機器の準備
書画カメラは、引出しに収納されています。
付属品をご確認の上、操作卓天板の外部入力パネルに接続してご使用ください。

※付属品の確認
電源コード、ACアダプタ、HDMIケーブル

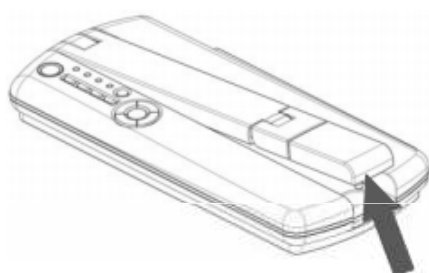
■ 本体の接続部

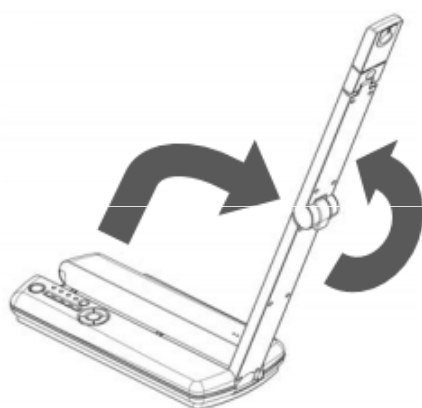
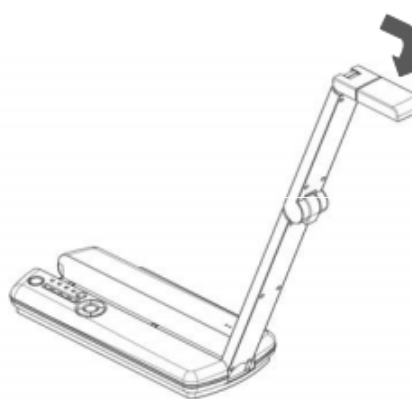
ACアダプタ　HDMIケーブル

■ 外部入力パネル

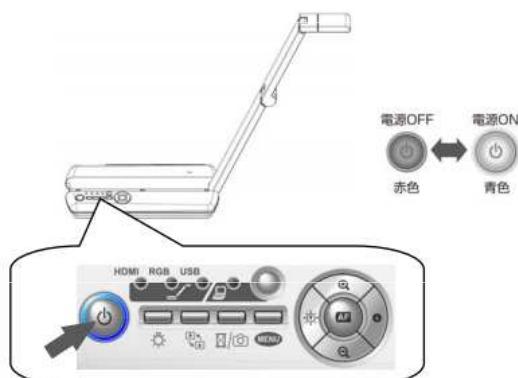
HDMI入力に接続

①機器の準備（つづき）
書画カメラは、折りたたみ式になっていますので下記①～④の手順で準備をしてください。ご使用後は、逆の手順で折りたたんで付属品と共に引出しに収納してください。

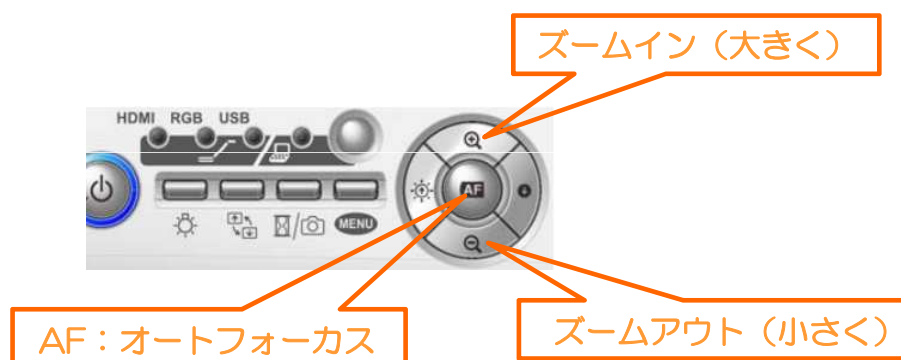
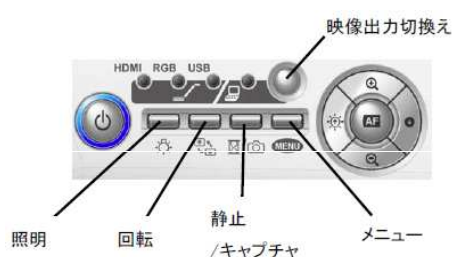
① 下図の矢印の位置に指をかけ、支柱を少し上に持ち上げます。

② 下図の矢印の位置に指をかけ、支柱を少し上に持ち上げます。

③ 支柱を矢印の方向に動かします。

④ カメラヘッドを水平にします。

※支柱を動かすときは、指を挟まないようにご注意ください。

②操作方法

1）電源を入れる

2）HDMIランプが青色点灯していることを確認する

映像出力切換えボタンを押すごとにHDMI、RGB、USBのランプが順番に
青色点灯します

3）ズーム、フォーカスの調節

※ その他 操作パネルの説明

マーク	名称	機能
	照明	照明を点灯/消灯します。
	回転ボタン	カメラライブ映像出力時：180° 回転します。 カメラ静止映像出力時：反時計回りに 90° 回転します。
	静止/キャプチャボタン	短押し(1 秒未満)すると、カメラライブ映像を静止します。 もう一度押すと解除します。 長押し(1 秒以上)すると、SD カードに静止画を保存します。
MENU	メニューボタン	画面上の MENU を表示/非表示します。
	映像切換えボタン	映像出力を切換えます。

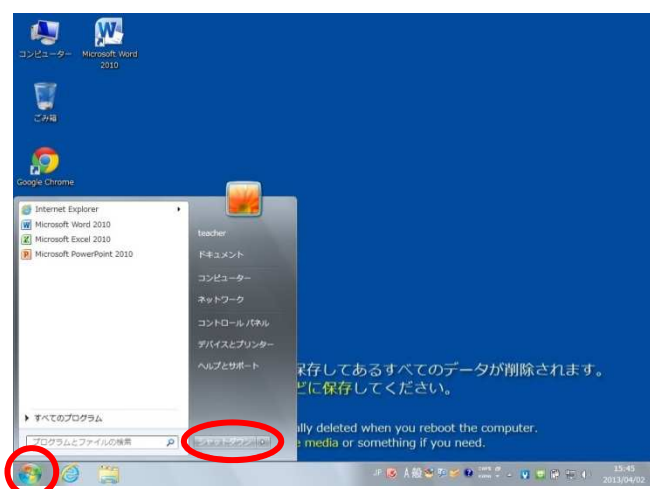
6．パソコンの使用（常設PC・持込PC）

＜常設パソコン＞

常設パソコンの映像をプロジェクターでスクリーンに映写する手順は、
“3．スクリーン映写手順”をご参照ください。

デジタルシステムスイッチャ【常設PC】ボタンを押す。

①機器の準備
操作卓内に常設ノートパソコンがあります。
電源スイッチを押すと電源が入り、Windowsが起動します。

②終了させる
終了させる時はパソコンの画面の『スタート』から『シャットダウン』ボタンをクリックしてください。パソコンがシャットダウンします。

※操作卓終了時は必ずパソコンをシャットダウンしてから扉を閉めてください。

＜持込パソコン＞

持込みパソコンの映像をプロジェクターでスクリーンに映写する手順は、
“3．スクリーン映写手順”をご参照ください。

デジタルシステムスイッチャ【外部PC】ボタンを押す。

①持込パソコンを操作卓に接続します。
操作卓天板の外部入力パネルにパソコンを接続するコネクタがあります。
VGAケーブルを使用し、『RGB入力』に接続します。
※音声を出したい場合は、ステレオミニケーブルも接続します。

■ 外部入力パネル

PC入力に接続

※ケーブルは引き出しの中にあります。

②終了させる
持ち込んだパソコンの電源を落とし、接続したケーブルを外します。

ご注意
パソコンの外部出力を有効にしないとスクリーンに投影されない場合があります。投影されない場合はメーカー指定の方法で外部出力（外部モニターモード）を有効にしてください。

参考

キー	メーカー
Fn ＋ F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn ＋ F4	HP
Fn ＋ F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn ＋ F7	SONY、IBM、HITACHI
Fn ＋ F8	DELL、EPSON
Fn ＋ F10	FUJITSU

※パソコン（Macなど）により、専用のケーブル（変換コネクタ）が必要な場合がありますので、ご自身で用意してください。

7．VHS/DVD/ＣＤの使用

VHS／DVDの映像をプロジェクターでスクリーンに映写する手順は、
“3．スクリーン映写手順”をご参照ください。

デジタルシステムスイッチャ【DVD/VHS】ボタンを押す。

①機器の準備
操作卓内にVHS/DVDプレーヤーがあります。
使用するVHSテープ、DVDディスクを挿入してください。
※CD音声を再生する時は、プロジェクター電源をONにする必要はありません。
デジタルシステムスイッチャの【DVD/VHS】ボタンを押してCDを再生
してください。

＜再生可能メディア＞
DVDビデオ、DVD-R(VRモード/Videoモード、CPRM対応)、DVD-RW(VRモード/Videoモード、CPRM対応)、音楽用CD、CD-R(CD-DA/JPEG)、CD-RW(CD-DA/JPEG)、VHS

②終了させる
使用したVHSテープ、DVDディスクを取り出してから操作卓の
扉を閉めてください。

8．ブルーレイの使用

ブルーレイの映像をプロジェクターでスクリーンに映写する手順は、
“3．スクリーン映写手順”をご参照ください。

デジタルシステムスイッチャ【BD】ボタンを押す。

①機器の準備
操作卓内にブルーレイプレーヤーがあります。
使用するブルーレイディスク、DVDディスクを挿入してください。
※CD音声を再生する時は、プロジェクター電源をONにする必要はありません。
デジタルシステムスイッチャの【BD】ボタンを押してCDを再生
してください。

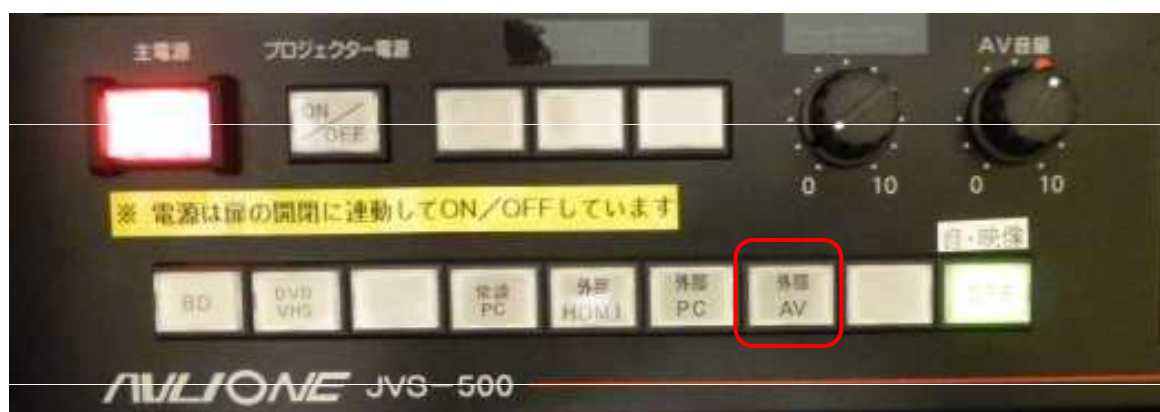
＜再生可能メディア＞
BD-RE*1 (50GB・25GB) (Ver.2.1)、
BD-R(50GB・25GB) (Ver.1.1・1.2・1.3)、
DVD-R、DVD-R DL(片面2層)、DVD-RW、+R、+R DL(片面2層)、+RW、
DVD-Video、CD-DA/CD-R/CD-RW

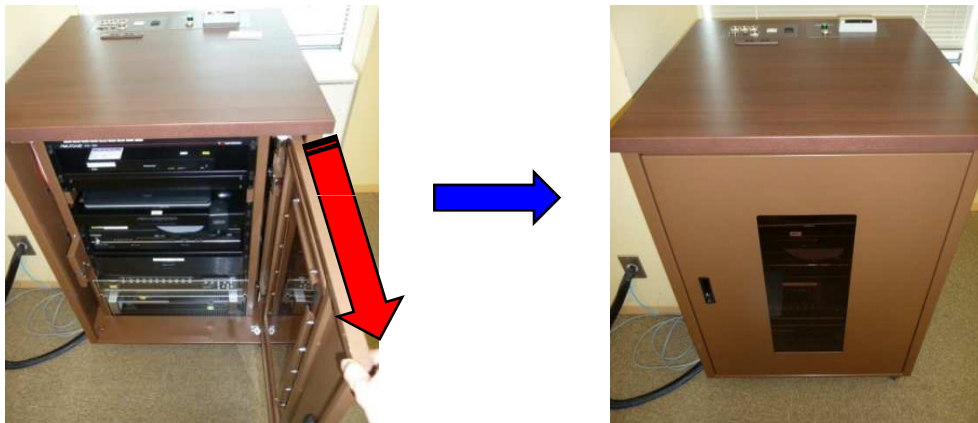
②終了させる
使用したブルーレイディスク、DVDディスクを取り出してから操作卓の
扉を閉めてください。

9．持込機器の使用

操作卓の天板に、持ち込んだＡＶ機器を接続する外部入力パネルがあります。

●AV入力・・・映像端子（黄色）、音声端子（赤白）
●RGB入力・・・映像端子（VGA）、音声端子（ステレオミニ）
●HDMI・・・デジタル信号入力
●LAN・・・学内ネットワークに接続されます。
●電源コンセント・・・100Vコンセント（2個）

持込機器の映像をプロジェクターでスクリーンに映写する手順は、
“3．スクリーン映写手順”をご参照ください。
デジタルシステムスイッチャ【外部AV】ボタンを押す。

１０．操作卓の閉め方（電源OFF）

扉を引き出して、閉じます。

カードリーダ横のランプが消灯します。

●全ての扉や蓋を閉めると、操作卓右上の緑のランプが消灯して鍵がかかり操作卓内の機器がすべて電源OFFになります。プロジェクターを使用している時は、プロジェクターの電源もOFFになります。

POINT
プロジェクターのみ、電源OFFにしたい場合は、
デジタルシステムスイッチャの［プロジェクタ電源ON/OFF］ボタンを押してください。ボタンが点滅し、しばらくすると電源OFFになります。

※扉を閉めないと緑のランプが消灯せず、鍵がかかりません。
閉め忘れにはご注意ください。

※ビデオテープなどを取り忘れてしまった場合は、再度カードを読み込ませて、起動してください。
プロジェクターを使用した後など、操作卓を閉じてすぐにはカードを受け付けないことがあり、開錠可能になるまで数分かかる場合があります。

１１．よくあるトラブル

１．操作卓が開かない

間違ったカードで開錠しようとしていませんか。
教職員カードまたは操作卓用磁気カードでなければ開錠できません。

２．書画カメラの映りが悪い／暗い

書画カメラ本体のランプが点いていない場合は電源を入れてください。
フォーカスがあっておらず字がぼやけていませんか。
オートフォーカスボタンを押して調整してください。
『５．書画カメラの使用』参照・・・Ｐ．７

３．持込パソコンが映らない

パソコンによっては、外部出力が有効でない場合、プロジェクターから投影されません。また、専用ケーブル（変換コネクタ）が必要な場合（Macなど）があります。メーカー・機種により、映像出力切替の方法が異なりますので、パソコンの取扱説明書等を参考にしてください。
『6．パソコンの使用<持込パソコン>』参照・・・Ｐ．11

４．操作卓が終了（緑のランプが消灯）しない

扉を閉め忘れてはいませんか。
扉を閉めないと緑のランプが消灯せず施錠されません。
扉が閉じていてもランプが消灯せず、施錠・終了しない場合は
卓内のセンサーが感知していない可能性があるので、扉や蓋を
閉め直してください。

5．ビデオテープ、DVD、CDが取り出せない

操作卓のシステム（電源）が落ちていませんか。
扉を閉じると電源が切れて施錠されるため、テープ等が取り出せなくなります。
再度開錠をしてから（各機器に電源が入ってから）取り出してください。
※操作卓を閉じてから開錠可能になるまでに数分かかることがあります。

１２．トラブル時の連絡先

操作卓について、操作方法の不明点やトラブル等がありましたら、リバティタワー7階のサポートデスクまでお問い合わせください。

リバティタワー・サポートデスク：03-3296-2389

明治大学
リバティタワー・サポートデスク

2014年9月5日　改訂